



コスモス通信

No.8 (25周年記念号)

平成27年10月31日 (通巻251号)

発行所 ● 大阪府グラフィックサービス協同組合コスモス会
編集責任 ● コスモス会事務局

25周年記念事業 淡路島旅行

おめでとう。25周年

助け合い、時代を乗り越えてきたコスモス会。会員皆さんの参画意識と協力のおかげで結成25周年を迎えることができました。誠におめでたく喜ばしい限りです。

委員会を立ち上げ『周年記念・淡路島旅行』を実施したところ、宿泊22名、日帰り4名と多くの会員の参加を得ました。澄み渡った秋晴れの下、みんなで喜びを分かち合い、学び、たくさんの目的を達成することができました。私もたいへん楽しみ、生涯の思い出となる旅行となりました。

25年間、決して崩れない会員相互の信頼と思いやり。記念として全員参加の通信記念号を発刊致します。

OGSはじめ、長い年月にわたりコスモス会をご支援くださる方々、そして会の行事へ快く送り出してくれる家族。全ての人への感謝の気持ちを忘れずに、これからも仲間と共に心の富を築いていきましょう。

会長 岡 加代子



平成27年10月17(土)～18日(日)

❧ 奇跡の星の植物館 ❧



野島断層からのメッセージ

地震のメカニズムをお勉強



断層保存ゾーン

国指定の天然記念物野島断層をそのまま屋内保存



断層が横切る民家の塀



震災直後の台所



各地からの千羽鶴

ホテルけひの海にて



心づくしのお料理の数々



雪花氷というアイスクリームのかき氷



淡路牛



キョんシー?

自凝島神社

予定にはなかったのですが行って良かった！



ガイドさんゲット！



見上げる
大きな松ぼっくり
は三葉松



自凝島（おのころじま）神社略記

自凝島神社古代の御原入江の中にあつて、イザナギ、イザナミの国生みの聖地として伝えられる丘にあり古くからおのころ島と親しまれ崇敬されてきた。古事記、日本書紀によれば、神代の昔、国土創世の時に二神は天の浮橋にお立ちになり、天の沼矛を持って海原をかき回すに、その矛より滴る潮がおのずと凝り固まって島となる。これが自凝島である。

二神はこの島に降り立たれ、八尋殿（やひろでん）を建て、先ず淡路島を造り次々を大八洲（おおやしま）を拓かれたとなっている。



〜 昼食休憩後淡路島をあとに 〜

おのころランド 世界遺産のミニチュア



一路大阪へ



さすがにみんなお疲れの様子



旅を終えて

記念すべき25周年事業で、実行委員長という大役を仰せつかり、緊張しましたが、とても楽しい旅でした。「一人でも沢山の方にご参加いただくこと」を最大の目標に置き、事前アンケートでご希望をうかがったり、一泊と日帰り両立できる旅行先や方法を役員・実行委員や旅行代理店で、何度も協議して決めたり、と、なかなか大変ながらも有意義な経験をさせていただきました。

添乗員さんのいないツアー旅行が初めてに近い経験でしたので、今考えると旅行とは行き先を決めて行程や宿泊先を予約するだけではなく、他にもいろんな事をしなければいけないんですね。目から鱗の勉強になりました。へっぴこな案内にもかかわらず、いつでもどこでも一致団結でしっかり動き、ここぞと言ったときに助けてくださるコスモス会の皆さんのおかげで、なんとか無事に旅行を終えることができました。本当にありがとうございます。この旅行が皆さんの楽しい思い出の1ページになり、コスモス会のさらなる絆を深める一助になれば、これほど嬉しいことはありません。

委員長 田中 幸恵
実行委員一同